

#### ■豪州：連邦政府、資源超過利潤税として最大40%の課税案を公表

連邦政府は2010年5月2日、税制改革案を公表し、新たに資源超過利潤税（RSPT）を導入する方針を明らかにした。同案は、国内の資源開発で得た事業利益に対して、最大40%課税するというもので、中国等のアジアからの資源需要によって利益を国内に還元することを目的とし、2012年7月までに導入するとされている。資源大手のBHP ビリトン、リオ・ティント2社の税負担額は年間30億豪ドルに上るとみられ、同案の発表を受けて、資源関連株は5月3、4日の2日間軒並み下落した。ラッド首相は5月4日、これら2社の幹部と会談し、資源超過利潤税の導入に理解を求めている。連邦政府は2010年後半に予定されている総選挙を前に、抜本的な税制改革に着手しており、資源超過利潤税による税収は、総選挙の争点となっている医療制度改革や法人税減税等による財源不足を補うためのものとみられる。